

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【公開番号】特開2016-120674(P2016-120674A)
 【公開日】平成28年7月7日(2016.7.7)
 【年通号数】公開・登録公報2016-040
 【出願番号】特願2014-262501(P2014-262501)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/47 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

G 0 3 G 15/04 (2006.01)

【FI】

B 4 1 J 2/47 1 0 1 Z

G 0 3 G 15/00 3 0 3

G 0 3 G 15/04

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月5日(2017.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

感光体と、前記感光体を露光する露光手段と、前記感光体にトナーを付着させる現像手段と、装置本体の枠体としてのフレームと、を有し、前記露光手段は、駆動電流の供給により発光する発光素子と、露光量に対応するパルスの前記駆動電流を前記発光素子へ供給する回路を備える基板と、を含み、前記発光素子が前記基板を貫通した状態で前記基板と接続され、前記感光体のトナーを付着させる画像部を第1露光量で露光し、前記感光体のトナーを付着させない背景部を前記第1露光量よりも小さい第2露光量で露光する画像形成装置において、

前記フレームとは別の部材であって、前記基板を覆う電氣的に接地された導電性部材を有し、前記導電性部材は、前記発光素子と対向する位置に前記基板から離れる方向に突出した突出部を備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記フレームは前記露光手段を挟んで互いに対向する2つの側板を備え、前記導電性部材は、前記基板の基板面の法線方向に関して、前記2つの側板よりも前記基板の基板面に近くに配置されていることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記露光手段は光学箱を備え、前記基板は前記光学箱の側壁に取り付けられ、前記導電性部材は前記基板よりも外側で前記側壁に取り付けられていることを特徴とする請求項1又は2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記導電性部材は前記フレームに取り付けられていることを特徴とする請求項1又は2に記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記導電性部材は、前記フレームに電氣的に接続することで電氣的に接地されていることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか一項に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記導電性部材は、前記基板に電氣的に接続することで電氣的に接地されていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記導電性部材は、前記基板の回路のうちの少なくとも前記駆動電流が流れる部分を覆っていることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の画像形成装置。

【請求項 8】

感光体と、前記感光体を露光する露光手段と、前記感光体にトナーを付着させる現像手段と、を有し、前記露光手段は、駆動電流の供給により発光する発光素子と、露光量に対応するパルスの前記駆動電流を前記発光素子へ供給する回路を備える基板と、を含み、前記発光素子が前記基板を貫通した状態で前記基板と接続され、前記感光体のトナーを付着させる画像部を第 1 露光量で露光して、前記感光体のトナーを付着させない背景部を前記第 1 露光量よりも小さい第 2 露光量で露光する画像形成装置において、

電波を吸収する材料で形成され、前記基板を覆う電波吸収部材を有し、前記電波吸収部材は、前記発光素子と対向する位置に前記基板から離れる方向に突出した突出部を備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 9】

前記露光手段は光学箱を備え、前記基板は前記光学箱の側壁に取り付けられ、前記電波吸収部材は前記基板よりも外側で前記側壁に取り付けられていることを特徴とする請求項 8 に記載の画像形成装置。

【請求項 10】

前記基板には前記発光素子のリードピンが貫通し、前記リードピンと前記基板の回路が半田により電氣的に接続されていることを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載の画像形成装置。

【請求項 11】

前記露光手段による前記第 1 露光量の露光により前記感光体の前記画像部はトナーを付着させる電位となり、前記露光手段による前記第 2 露光量の露光により前記感光体の前記背景部はトナーを付着させない電位となることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれか一項に記載の画像形成装置。

【請求項 12】

感光体と、前記感光体を露光する露光手段と、前記感光体にトナーを付着させる現像手段と、装置本体の枠体としてのフレームと、を有し、前記露光手段は、駆動電流の供給により発光する発光素子と、露光量に対応するパルスの前記駆動電流を前記発光素子へ供給する回路を備える基板と、を含み、前記発光素子が前記基板を貫通した状態で前記基板と接続される画像形成装置において、

前記フレームとは別の部材であって、前記基板を覆う電氣的に接地された導電性部材を有し、前記導電性部材は、前記発光素子と対向する位置に前記基板から離れる方向に突出した突出部を備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 13】

感光体と、前記感光体を露光する露光手段と、前記感光体にトナーを付着させる現像手段と、を有し、前記露光手段は、駆動電流の供給により発光する発光素子と、露光量に対応するパルスの前記駆動電流を前記発光素子へ供給する回路を備える基板と、を含み、前記発光素子が前記基板を貫通した状態で前記基板と接続される画像形成装置において、

電波を吸収する材料で形成され、前記基板を覆う電波吸収部材を有し、前記電波吸収部材は、前記発光素子と対向する位置に前記基板から離れる方向に突出した突出部を備えることを特徴とする画像形成装置。